

# 「数学ソフトウェア」発表者募集

九州大学組合せ数学セミナー世話人一同  
九州大学マス・フォア・インダストリ研究所  
数学理論先進ソフトウェア開発室一同

## この企画について

---

数学においても定理や理論をコンピュータ言語で実装する必要性が増してきます。社会への数学理論の還元だけでなく、実装により数学理論が可視化できさらに数学理論が進化することがしばしばあるからです。

今回の組合せ数学セミナーでは、セミナー参加者の交流をさらに深めるために、研究をする上で作製した数学ソフトウェアを発表・展示する機会を設けようと思います。

「数学ソフトウェア」と聞くと Mathematica や MATLAB のような完成度の高く汎用性のあるものを想像するかもしれませんが、ここではそういったものでなくてもかまいません。著作権違反のコピーではだめですが、新規性や独創性等も要求しません。「〇〇という数学分野を研究するために、△△というコンピュータ言語でプログラムを書いてみました」や「卒論・修論を書くためにこんな数学に関するプログラムを書きました」といった軽い気持ちで書いたものでもかまいません。この企画では、すばらしい数学ソフトウェアを紹介するというよりは、いろいろなバリエーションの数学ソフトウェアとその開発者が集まることで生まれる相乗効果を期待しています。

## 企画の詳細

---

[日時] 2012年1月26日(土) 発表時間は一時間程度を予定しております。

[場所] リファレンス駅東ビル 会議室 I(2階) (福岡市博多区博多駅東 1丁目16-14)

[形式] ポスター発表の形式です。ただし、ポスターではなく A4 用紙 4~5 枚程度でプログラムの詳細を記載したものを用意して張っていただきます。また、発表者にはこちらからプロジェクターを貸し出しますので、プロジェクターに自分のプログラムやその出力を映して発表してください。パワーポイント等のプレゼンテーションソフトを使いながら説明してもかまいません。

[注意] コンピュータは各自用意してください。

## 募集要領

---

発表・展示を希望される方は、2013年1月18日(金)までに、下記の項目を記載して [ym@imi.kyushu-u.ac.jp](mailto:ym@imi.kyushu-u.ac.jp) に送ってください。

- A) 名前, 所属, 連絡先メールアドレス
- B) プログラム名
- C) プログラムの概要(300~400字程度で, どんな数学理論をどんなコンピュータ言語で実装したか等のアピールをしてください)

## その他

---

会場の広さやプロジェクターの数には限りがありますので、多数応募をいただいた場合は、学生や若手研究者を優先させていただきます。ご了承ください。

また、ご不明な点がありましたら、[ym@imi.kyushu-u.ac.jp](mailto:ym@imi.kyushu-u.ac.jp) にご連絡ください。

みなさまのご応募お待ちしております